

ダイワ・インド株ファンド (愛称: パワフル・インド)

運用報告書(全体版)

第69期 (決算日 2025年9月8日)

第70期 (決算日 2025年12月8日)

(作成対象期間 2025年6月10日～2025年12月8日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行なってきました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2008年6月13日～2050年6月7日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株マザーファンドの受益証券
	ダイワ・インド株マザーファンド	インドまたはその他の国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）するインドの企業の株式およびDR（預託証書）
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI インド指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指數)	期中騰落率			
61期末(2023年9月7日)	円 11,665	円 100	% 13.0	30,920	% 12.9	% 94.1	% 3.6	百万円 16,170
62期末(2023年12月7日)	11,575	750	5.7	33,161	7.2	97.8	1.0	21,934
63期末(2024年3月7日)	11,317	1,200	8.1	37,405	12.8	95.4	3.5	34,588
64期末(2024年6月7日)	11,450	950	9.6	40,527	8.3	95.2	1.9	53,726
65期末(2024年9月9日)	11,171	0	△ 2.4	40,421	△ 0.3	93.9	3.6	76,002
66期末(2024年12月9日)	11,570	10	3.7	41,209	1.9	93.6	3.8	85,510
67期末(2025年3月7日)	9,931	0	△ 14.2	35,266	△ 14.4	94.0	3.8	76,371
68期末(2025年6月9日)	10,982	0	10.6	39,299	11.4	93.5	3.9	86,904
69期末(2025年9月8日)	10,723	0	△ 2.4	38,228	△ 2.7	93.6	4.1	83,746
70期末(2025年12月8日)	11,498	10	7.3	41,509	8.6	93.6	4.0	85,828

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI インド指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI インド指数（税引後配当込み、インド・ルピーベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI インド指数（税引後配当込み、インド・ルピーベース）は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCI によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[\[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html\]](https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html)

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

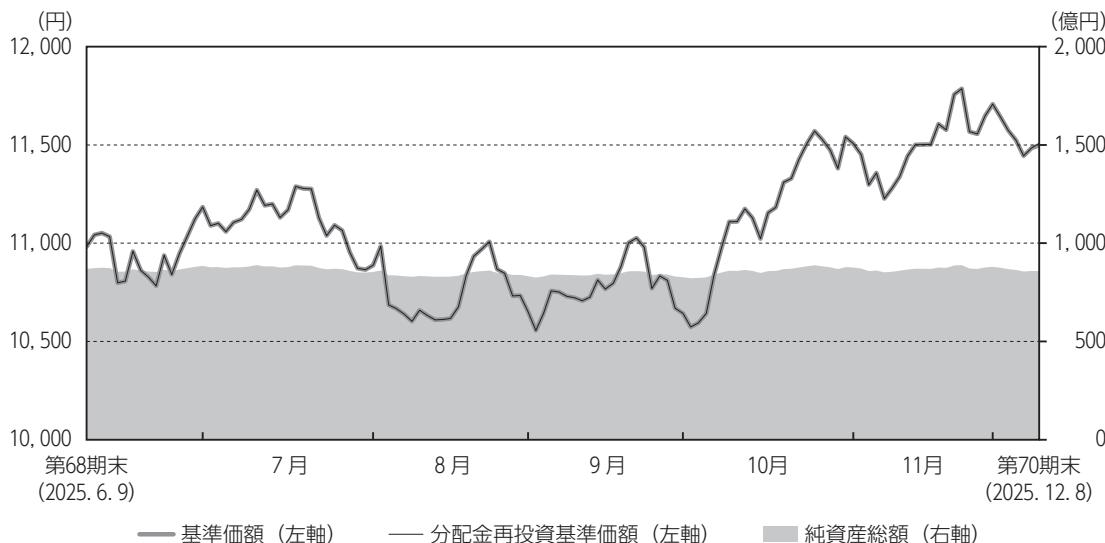
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第69期首：10,982円

第70期末：11,498円（既払分配金10円）

騰 落 率：4.8%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

インド株式市況が上昇したことや、インド・ルピーが対円で上昇（円安）したことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・インド株ファンド

	年 月 日	基 準 価 額	M S C I インド指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
			騰 落 率 (参考指數)	騰 落 率		
第69期	(期首) 2025年 6月 9日	円 10,982	% —	% 39,299	% —	% 93.5
	6月末	11,184	1.8	40,094	2.0	93.5
	7月末	10,888	△ 0.9	39,195	△ 0.3	93.8
	8月末	10,653	△ 3.0	37,773	△ 3.9	93.8
	(期末) 2025年 9月 8日	10,723	△ 2.4	38,228	△ 2.7	93.6
第70期	(期首) 2025年 9月 8日	10,723	—	38,228	—	93.6
	9月末	10,643	△ 0.7	38,070	△ 0.4	93.7
	10月末	11,508	7.3	41,351	8.2	93.5
	11月末	11,708	9.2	42,289	10.6	93.7
	(期末) 2025年12月 8日	11,508	7.3	41,509	8.6	93.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 6. 10 ~ 2025. 12. 8)

■ インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首から2025年9月末にかけて、インド中央銀行による追加利下げや日本の消費税に相当する「物品・サービス税（G S T、Goods and Services Tax）」の実質的な大幅減税の発表が好感された一方で、米国との通商交渉に対する警戒感や米国の就労ビザ「H-1B」規制強化の発表が重しとなり、上下する展開となりました。その後は、インド中央銀行による融資規制の緩和や、G S T減税を背景とした祭事期間中の好調な消費、米印通商合意への期待の高まりなどから、上昇基調で推移しました。

■ 為替相場

インド・ルピーは、対米ドルでは下落したものの、円安米ドル高が進行したことを主因に対円で上昇（円安）しました。

インド・ルピーの対円為替相場は、当作成期首から2025年7月中旬にかけて、米ドル円の動きに連れる形で推移しましたが、その後は、主に米国との通商交渉をめぐる不透明感などから、インド・ルピーは対米ドルで軟調に推移し、対円でも下落（円高）しました。10月は、自民党総裁選挙の結果を受けて大幅に円安米ドル高が進行し、インド・ルピーも対円で上昇しました。当作成期末にかけては、経済成長を重視する高市政権の姿勢が日銀の早期利上げ観測の後退に繋がり円安米ドル高が進行しましたが、インドの貿易収支の悪化や対米通商交渉の停滞を背景に対米ドルで下落し、対円ではおおむね横ばいとなりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ ダイワ・インド株マザーファンド

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターもポジティブとみています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

ポートフォリオについて

(2025. 6. 10～2025. 12. 8)

■当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

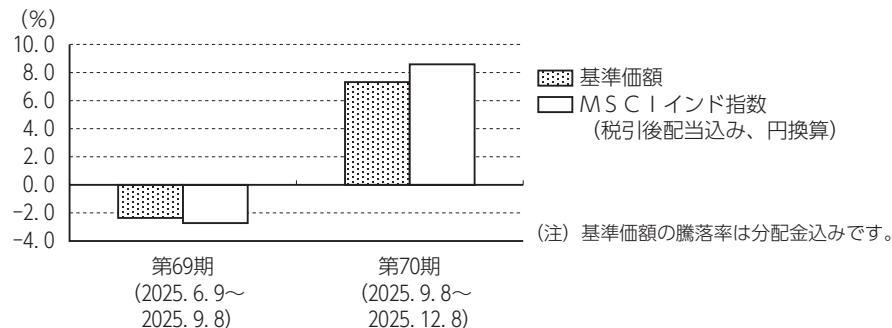
■ダイワ・インド株マザーファンド

優秀な経営陣に率いられ強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に、分散投資を行いました。業種別では、貸出残高や手数料収入の増加などによる中長期的な業績拡大が見込まれる銀行を中心に、金融セクターを組入上位としました。また、中間所得者層の増加などを背景に中長期的な需要拡大が期待される自動車や二輪車関連を中心に、一般消費財・サービスセクターも高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当成期の1万口当たり分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当たり）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

また、第69期につきましては、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送させていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第69期	第70期
	2025年6月10日 ～2025年9月8日	2025年9月9日 ～2025年12月8日
当期分配金（税込み）(円)	—	10
対基準価額比率 (%)	—	0.09
当期の収益 (円)	—	10
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	4,904	4,937

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（1万口当たり）

項目	第69期	第70期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円	✓ 18.71円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	23.24
(c) 収益調整金	4,868.63	4,870.01
(d) 分配準備積立金	36.28	35.11
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	4,904.92	4,947.09
(f) 分配金	0.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	4,904.92	4,937.09

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株マザーファンド

当ファンドでは、企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得者層の増加などを背景に需要の中長期的な拡大が期待される自動車や二輪車関連を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターもポジティブにみています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項目	第69期～第70期 (2025. 6. 10～2025. 12. 8)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	102円	0.921%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,073円です。
(投信会社)	(49)	(0.439)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(49)	(0.439)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	6	0.058	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(6)	(0.055)	
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
有価証券取引税	3	0.029	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(3)	(0.029)	
その他費用	46	0.418	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.025)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(43)	(0.392)	インドキャピタルゲイン税、信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	158	1.426	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

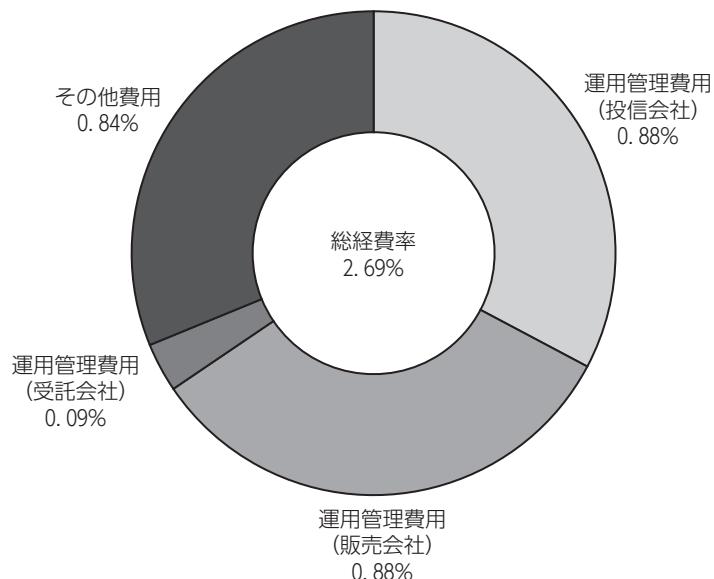
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.69%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) その他費用には、インドにおける非居住者による株式の売却益（キャピタル・ゲイン）に対する税が含まれる場合があります。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年6月10日から2025年12月8日まで)

決算期	第69期～第70期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ダイワ・インド株 マザーファンド	千口 210,202	千円 992,800	千口 1,428,904	千円 6,900,100

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年6月10日から2025年12月8日まで)

項目	第69期～第70期
	ダイワ・インド株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	18,353,605千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	80,450,654千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.22

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当分成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第68期末		第70期末	
	口数	千円	口数	千円
ダイワ・インド株 マザーファンド	18,384,827	17,166,125	85,676,130	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月8日現在

項目	第70期末	
	評価額	比率
千円	%	
ダイワ・インド株マザーファンド	85,676,130	98.8
コール・ローン等、その他	1,083,705	1.2
投資信託財産総額	86,759,835	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものであります。なお、12月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=155.24円、1インド・ルピー=1.74円、1ユーロ=180.81円です。

(注3) ダイワ・インド株マザーファンドにおいて、第70期末における外貨建純資産(85,528,069千円)の投資信託財産総額(86,216,433千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年9月8日)、(2025年12月8日)現在

項目	第69期末	第70期末
(A)資産		
コール・ローン等	84,279,598,899円	86,759,835,876円
ダイワ・インド株 マザーファンド (評価額)	629,046,807	690,605,318
未収入金	83,600,252,092	85,676,130,558
(B)負債		
未払収益分配金	50,300,000	393,100,000
未払解約金	532,646,017	931,240,722
未払信託報酬	136,632,566	459,175,771
その他未払費用	395,477,739	396,310,518
(C)純資産額 (A-B)	535,712	1,105,120
元本	83,746,952,882	85,828,595,154
次期繰越損益金	78,096,739,826	74,649,313,066
(D)受益権総口数	5,650,213,056	11,179,282,088
1万口当たり基準価額 (C/D)	78,096,739,826円	74,649,313,066円
	10,723円	11,498円

*当分成期首における元本額は79,135,473,284円、当分成期間（第69期～第70期）中における追加設定元本額は5,505,152,869円、同解約元本額は9,991,313,087円です。

*第70期末の計算口数当りの純資産額は11,498円です。

■損益の状況

第69期 自 2025年 6月10日 至 2025年 9月 8日
 第70期 自 2025年 9月 9日 至 2025年12月 8日

項目	第69期	第70期
(A) 配当等収益	553,262円	555,272円
受取利息	553,262	555,272
(B) 有価証券売買損益	△ 1,602,894,929	6,140,636,498
売買益	56,000,371	6,452,116,655
売買損	△ 1,658,895,300	△ 311,480,157
(C) 信託報酬等	△ 396,013,451	△ 396,879,926
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,998,355,118	5,744,311,844
(E) 前期繰越損益金	△ 3,589,735,636	△ 5,168,926,463
(F) 追加信託差損益金	11,238,303,810	10,678,546,020
(配当等相当額)	(38,022,480,960)	(36,354,314,624)
(売買損益相当額)	(△ 26,784,177,150)	(△ 25,675,768,604)
(G) 合計 (D + E + F)	5,650,213,056	11,253,931,401
(H) 収益分配金	—	△ 74,649,313
次期繰越損益金 (G + H)	5,650,213,056	11,179,282,088
追加信託差損益金	11,238,303,810	10,678,546,020
(配当等相当額)	(38,022,480,960)	(36,354,314,624)
(売買損益相当額)	(△ 26,784,177,150)	(△ 25,675,768,604)
分配準備積立金	283,403,030	500,736,068
繰越損益金	△ 5,871,493,784	—

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第69期	第70期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	139,740,422円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	173,500,066
(c) 収益調整金	38,022,480,960	36,354,314,624
(d) 分配準備積立金	283,403,030	262,144,893
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	38,305,883,990	36,929,700,005
(f) 分配金	0	74,649,313
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	38,305,883,990	36,855,050,692
(h) 受益権総口数	78,096,739,826□	74,649,313,066□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1万口当たり分配金(税込み)	第69期	第70期
0円	0円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ・インド株マザーファンド
運用報告書 第19期 (決算日 2025年12月8日)
(作成対象期間 2024年12月10日～2025年12月8日)

ダイワ・インド株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

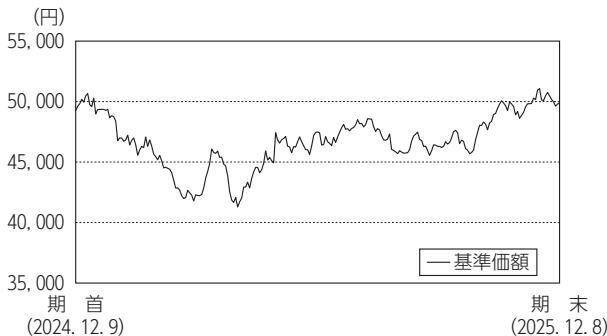
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドまたはその他の国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）するインドの企業の株式およびD R（預託証書）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		MSCI インド指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指標)	株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	%			
(期首) 2024年12月9日	49,265	—	40,914	—	94.1 3.8
12月末	49,273	0.0	41,133	0.5	93.8 3.8
2025年1月末	46,198	△ 6.2	37,953	△ 7.2	93.8 3.8
2月末	42,688	△13.4	35,087	△14.2	94.1 3.9
3月末	45,387	△ 7.9	37,528	△ 8.3	93.9 4.0
4月末	44,351	△10.0	37,163	△ 9.2	93.6 4.0
5月末	46,686	△ 5.2	38,599	△ 5.7	93.6 3.9
6月末	48,111	△ 2.3	39,807	△ 2.7	93.7 3.9
7月末	46,910	△ 4.8	38,915	△ 4.9	93.9 4.1
8月末	45,960	△ 6.7	37,503	△ 8.3	94.0 4.1
9月末	45,993	△ 6.6	37,798	△ 7.6	93.8 4.2
10月末	49,816	1.1	41,055	0.3	93.7 4.3
11月末	50,755	3.0	41,987	2.6	93.9 4.0
(期末) 2025年12月8日	49,910	1.3	41,213	0.7	93.8 4.0

(注1) 謙落率は期首比。

(注2) MSCI インド指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI インド指数（税引後配当込み、インド・ルピーベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI インド指数（税引後配当込み、インド・ルピーベース）は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関する責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数值は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指數は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・謙落率】

期首：49,265円 期末：49,910円 謙落率：1.3%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首から2025年2月にかけて、インドの貿易赤字拡大が嫌気されたほか、米国の利下げ期待の後退や盛り上がりに欠けるインドの企業決算などが重しとなり、下落基調で推移しました。その後は、インドの追加利下げへの期待や貿易赤字の改善などから、外国人投資家の見直し買いが進んだことなどを背景に、反発しました。4月上旬には、米国が発表した閑税をめぐる世界的な市場の動揺から一時調整をものものの、その後は、インド中央銀行の追加利下げや、インドへの米国の閑税措置の影響が相対的に限定的との見方などがサポート材料となり、上昇しました。また、6月にかけては、インド中央銀行が市場予想よりも大幅な利下げを行ったことなどから、堅調に推移しました。9月末にかけては、インド中央銀行による追加利下げや日本の消費税に相当する「物品・サービス税（GST, Goods and Services Tax）」の実質的な大幅減税の発表が好感された一方で、米国との通商交渉に対する警戒感や米国の就労ビザ「H-1B」規制強化の発表が重しとなり、上下する展開となりました。当作成期末にかけては、インド中央銀行による融資規制の緩和や、GST 減税を背景とした祭事期間中の好調な消費、米印通商合意への期待の高まりなどから、上昇基調で推移しました。

○為替相場

インド・ルピーは対円で下落（円高）しました。

インド・ルピーは、当作成期首より、米国金利が上昇したことや日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから円安米ドル高となる中、対円で上昇（円安）しました。2025年に入ると、日銀の利上げ観測や米国金利の低下に加えて、米国の閑税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まることなどから円高基調となり、対円で下落しました。5月以降は、米国と各国との貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まることなどを受けて円安が進行した場面もありましたが、その後、日本の金利の上昇を受けた金利差縮小の思惑などから円高圧力が強まり、インド・ルピーは対円で続落しました。7月中旬にかけては、米ドル円の動きに連れる形で推移しましたが、その後は、主に米国との通商交渉をめぐる不透明感などから、インド・ルピーは対米ドルで軟調に推移し、対円でも下落しました。10月は、自民党総裁選挙の結果を受けて大幅に円安米ドル高が進行し、インド・ルピーも対円で上昇しました。当作成期末にかけては、経済成長を重視する高市政権の姿勢が日銀の早期利上げ観測の後退に繋がり円安米ドル高が進行しましたが、インドの貿易収支の悪化や対米通商交渉の停滞を背景に対米ドルで下落し、対円ではおおむね横ばいとなりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターやポジティブ

とみています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

◆ポートフォリオについて

優秀な経営陣に率いられ強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に、分散投資を行いました。業種別では、貸出残高や手数料収入の増加などによる中長期的な業績拡大が見込まれる銀行を中心に、金融セクターを組入上位としました。また、中間所得者層の増加などを背景に中長期的な需要拡大が期待される自動車や二輪車関連を中心に、一般消費財・サービスセクターも高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指標の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得者層の増加などを背景に需要の中長期的な拡大が期待される自動車や二輪車関連を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターもポジティブにみています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

■売買および取引の状況

(1) 株式

(2024年12月10日から2025年12月8日まで)

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外 国	アメリカ	百株 (—) —)	千アメリカ・ドル 999 2,678	百株 2,452.31	千アメリカ・ドル 7,140
	インド	百株 (43,645.16) —)	千インド・ルピー 52,134.47 7,203,819	百株 74,491.86	千インド・ルピー 7,345,537
(注1) 金額は受渡し代金。					

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれてありません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 優先出資証券

(2024年12月10日から2025年12月8日まで)

		買付		売付	
		証券数	金額	証券数	金額
外 国	インド	千証券 — (11,339.24) —)	千インド・ルピー — —)	千証券 — (—) —)	千インド・ルピー — —)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれてありません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれてありません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の種類別取引状況

(2024年12月10日から2025年12月8日まで)

種類別	買建		売建	
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国 株式先物取引	百万円 40,616	百万円 40,546	百万円 —	百万円 —

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■1万口当たりの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	41円 (38) (2)
有価証券取引税 (株式)	20 (20)
その他費用 (保管費用) (その他)	249 (23) (226)
合計	310

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

ダイワ・インド株マザーファンド

■主要な売買銘柄 株式

(2024年12月10日から2025年12月8日まで)

当 期							
買付		売付					
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
ASIAN PAINTS LTD (インド)	358.113	1,504,196	4,200	CUMMINS INDIA LTD (インド)	212.006	1,593,619	7,516
SIEMENS LTD (インド)	215.207	1,215,624	5,648	TATA CONSULTANCY SVCS LTD (インド)	216.8	1,173,750	5,413
HDFC BANK LIMITED (インド)	474.8	1,160,755	2,444	ICICI LOMBARD GENERAL INSURA (インド)	338.8	1,095,127	3,232
BAJAJ FINANCE LTD (インド)	630.015	1,127,178	1,789	HDFC BANK LIMITED (インド)	462.5	1,054,995	2,281
GODREJ PROPERTIES LTD (インド)	268.039	954,863	3,562	JK CEMENT LTD (インド)	77.9	800,000	10,269
VOLTAS LTD (インド)	389.317	927,289	2,381	CHALET HOTELS LTD (インド)	394.657	673,385	1,706
HDB FINANCIAL SERVICES LTD (インド)	613.417	809,458	1,319	INDIAN HOTELS CO LTD (インド)	504.406	665,523	1,319
TVS MOTOR CO LTD (インド)	99.098	401,942	4,056	HDFC LIFE INSURANCE CO LTD (インド)	482.988	600,474	1,243
INDIAN HOTELS CO LTD (インド)	254.122	329,357	1,296	ASHOK LEYLAND LTD (インド)	2,962.816	598,671	202
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND (インド)	127.4	298,262	2,341	TECH MAHINDRA LTD (インド)	187.914	500,295	2,662

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		当 期 末			業種等	
	株数	株数	評価額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円			
ICICI BANK LTD-SPON ADR	13,244	13,075	40,127	6,229,342	金融		
INFOSYS LTD-SP ADR	16,507	15,546	28,091	4,360,943	情報技術		
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	5,405	5,081.69	34,758	5,395,949	エネルギー		
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	35,156	33,702.69	102,977	15,986,235		
	銘柄数<比率>	3 銘柄	3 銘柄		<18.7%>		
(インド)	百株	百株	千インド・ルピー	千円			
NUVOCO VISTAS LTD	3,822.88	4,772.35	167,581	291,591	素材		
SONA BLW PRECISION FORGINGS LTD	8,055.94	8,919.94	439,619	764,937	一般消費財・サービス		
SCHAEFFLER INDIA LTD	1,062.29	1,233.29	484,460	842,962	一般消費財・サービス		
TIMKEN INDIA LTD	1,315.26	1,852.39	573,073	997,148	資本財・サービス		
JUBILANT FOODWORKS LTD	13,451.04	11,466.04	680,165	1,183,487	一般消費財・サービス		
SKF INDIA LTD	—	1,201.56	321,032	558,597	資本財・サービス		
HDB FINANCIAL SERVICES LTD	—	6,134.17	459,449	799,441	金融		
KWALITY WALLS INDIA LTD	—	5,132.36	20,632	35,899	生活必需品		
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND	3,805.8	4,775.8	826,404	1,437,943	金融		
DR LAL PATHLABS LTD	1,527.9	1,538.42	466,079	810,978	ヘルスケア		
PAGE INDUSTRIES LTD	147.15	152.15	569,877	991,587	一般消費財・サービス		
ENDURANCE TECHNOLOGIES LTD	2,561.43	2,254.86	599,567	1,043,247	一般消費財・サービス		
JK CEMENT LTD	681	—	—	—	素材		
ICICI LOMBARD GENERAL INSURA	3,388	—	—	—	金融		
HDFC LIFE INSURANCE CO LTD	13,969.57	10,799.69	829,740	1,443,747	金融		

銘 柄	期 首	当 期 末			業種等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
	百株	百株	百株	千円	
LTIMINDTREE LTD	1,126.36	1,135.36	714,368	1,243,001	情報技術
L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD	904	904	410,994	715,130	資本財・サービス
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	1,385.76	2,211.52	570,019	991,833	金融
CHALET HOTELS LTD	5,019.21	1,072.64	96,371	167,686	一般消費財・サービス
SKF INDIA LTD	1,091.45	1,201.56	225,689	392,698	一般消費財・サービス
CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD	3,090.83	3,090.83	268,855	467,809	素材
TATA STEEL LTD	45,509.16	44,190.16	738,461	1,284,923	素材
AXIS BANK LTD	15,055.14	15,092.14	1,935,566	3,367,886	金融
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	1,525.78	1,450.78	2,362,159	4,110,158	一般消費財・サービス
OBEROI REALTY LTD	—	594	98,467	171,333	不動産
DLF LTD	7,150	8,358.8	601,624	1,046,826	不動産
ASHOK LEYLAND LTD	14,814.08	—	—	—	資本財・サービス
ASIAN PAINTS LTD	—	3,581.13	1,063,058	1,849,721	素材
HINDUSTAN UNILEVER LTD	5,231.36	5,132.36	1,200,253	2,088,441	生活必需品
SIEMENS LTD	—	2,152.07	715,756	1,245,417	資本財・サービス
POWER GRID CORP OF INDIA LTD	35,045.67	35,053.67	945,748	1,645,601	公益事業
VOLTAS LTD	—	3,893.17	516,623	898,925	資本財・サービス
ULTRATECH CEMENT LTD	971.92	877.92	1,018,123	1,771,535	素材
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	7,899.15	8,045.15	1,733,649	3,016,549	金融
BHARAT FORGE LTD	3,182	1,890.67	265,828	462,541	一般消費財・サービス
CUMMINS INDIA LTD	2,120.06	—	—	—	資本財・サービス
DIVIS LABORATORIES LTD	1,548	1,520	983,972	1,712,111	ヘルスケア
SHREE CEMENT LTD	224.25	197.22	514,251	894,797	素材
TECH MAHINDRA LTD	5,118.42	3,239.28	508,826	885,357	情報技術
AIA ENGINEERING LTD	1,131.88	1,285.98	484,274	842,637	資本財・サービス
GODREJ PROPERTIES LTD	—	2,680.39	558,164	971,206	不動産
TVS MOTOR CO LTD	2,107.83	2,834.81	1,039,071	1,807,983	一般消費財・サービス
BAJAJ FINANCE LTD	—	6,300.15	660,255	1,148,844	金融
HINDALCO INDUSTRIES LTD	15,096.21	14,880.21	1,225,013	2,131,523	素材
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	4,509	2,528	818,616	1,424,393	情報技術
LARSEN & TOUBRO LTD	6,570.9	6,597.9	2,664,363	4,635,993	資本財・サービス
HDFC BANK LIMITED	20,464.4	41,978.8	4,211,733	7,328,415	金融
RELIANCE INDUSTRIES LTD	2,540	3,864	595,287	1,035,800	エネルギー
ABB INDIA LTD	1,238.66	1,182.66	611,849	1,064,617	資本財・サービス
INDIAN HOTELS CO LTD	5,044.06	2,541.22	185,737	323,183	一般消費財・サービス
インド・ルピー通貨計	株数、金額	270,503.8	291,791.57	36,980,722	64,346,457
	銘柄数<比率>	41 銘柄	46 銘柄	<75.1%>	
ファンド合計	株数、金額	305,659.8	325,494.26	—	80,332,693
	銘柄数<比率>	44 銘柄	49 銘柄	<93.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・インド株マザーファンド

(2) 外国優先出資証券

銘柄	証券数	期首	当期末	
		千証券	評価額	邦貨換算金額
			外貨建金額	
(インド) TVS MOTOR COMPANY LTD 6	—	11,339.24	—	—
合計	証券数、金額 銘柄数 <比率>	11,339.24	—	<-->
	—	1 銘柄	—	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) <>内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
外 国 IFSC NIFTY 50 (インド)	百万円 3,434	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので
す。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月8日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 80,332,693	% 93.2
コール・ローン等、その他	5,883,740	6.8
投資信託財産総額	86,216,433	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので
す。なお、12月8日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝
155.24円、1 インド・ルピー＝1.74円、1 ヨーロ＝180.81円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (85,528,069千円) の投資信託財産総額
(86,216,433千円) に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月8日現在

項目	当期末
(A) 資産	86,216,433,975円
コール・ローン等	4,700,787,748
株式（評価額）	80,332,693,533
未収入金	218,625,856
未収配当金	2,517,687
差入委託証拠金	961,809,151
(B) 負債	540,417,632
未払金	147,317,632
未払解約金	393,100,000
(C) 純資産総額 (A - B)	85,676,016,343
元本	17,166,125,137
次期繰越損益金	68,509,891,206
(D) 受益権総口数	17,166,125,137口
1万口当たり基準価額 (C / D)	49,910円

*期首における元本額は17,267,686,930円、当生成期間中における追加設定元本額
は1,593,002,181円、同解約元本額は1,694,563,974円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ・インド株ファンド 17,166,125,137円

*当期末の計算口数当りの純資産額は49,910円です。

■損益の状況

当期 自 2024年12月10日 至 2025年12月 8日

項目	当期
(A)配当等収益	792,356,663円
受取配当金	755,299,697
受取利息	9,497,075
その他収益金	27,559,891
(B)有価証券売買損益	1,022,079,634
売買益	7,864,972,890
売買損	△ 6,842,893,256
(C)先物取引等損益	1,044,998
取引益	381,067,783
取引損	△ 380,022,785
(D)その他費用	446,772,288
(E)当期損益金 (A + B + C + D)	1,368,709,007
(F)前期繰越損益金	67,801,520,406
(G)解約差損益金	△ 6,427,036,026
(H)追加信託差損益金	5,766,697,819
(I)合計 (E + F + G + H)	68,509,891,206
次期繰越損益金 (I)	68,509,891,206

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》**■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について**

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。